



学校だより

福生一小ホームページ <https://fussa-1e.hs.fussa.school/>

令和7年10月1日
10月号
福生市立福生第一小学校
統括校長 高瀬 智子



一小の思い出は 一生の思い出

学び続ける力をはぐくむ

統括校長 高瀬 智子

2学期が始まり、1か月が過ぎました。このところは秋らしい気候となりましたが、暑い日が多く、熱中症に気を付けながらのスタートでした。

先日の学校公開では、多くの方に参観いただきました。子どもたちの学びの様子から、1学期に比べての成長や、子どもたちが発表を頑張っていること、すすんで取り組もうとしていることなど、また、教員への感謝の言葉など、多くの感想・御意見をいただきありがとうございました。御意見等を踏まえて、これからの学習や生活に生かしてまいります。

9月26・27日は、5年生の名栗自然教室でした。2学期明けから、自然教室に向けての学習や準備をすすめ、2日間の活動を行ってきました。活動や寝食を共にすることを通して、互いに協力し合うことの大切さや相手の気持ちを考えて行動する大切さなどを経験しました。この経験をこれからの学校生活に生かしていくことを期待しています。

学校では、運動会に向けて学習や準備が始まっています。子どもたちは、運動会に向けて気持ちを高め、進めていきますが、当日までのプロセスが重要です。互いに目標に向かって協力すること、助け合うこと、知恵を出し合い考えることなど、全てが子どもたちにとって大切な経験であり成長の糧となります。運動会は子どもたちがとても楽しみにしている行事です。御家庭でも様子を聞くなどして励ましていただけると幸いです。

さて、先日ですが、東京学芸大学教職大学院教授の堀田達也氏の講演を聞く機会がありました。堀田氏は文部科学省の次の学習指導要領改訂の特別部会等で委員をされ、これからの教育の在り方について検討されている方です。お話の一部を紹介します。

- ・これからの時代は、日本は人口減少が進み、生産年齢人口の減少により様々な職種において人手不足となってくる。そのため、業務を見直すことやデジタルの活用による効率化が必要となる。
- ・人生100年時代となり、教育-仕事-引退という3ステージの人生モデルであったものが、転職や学び直しが当たり前となり、人生の多様化が進む。

講演から、これからの時代は、時代の変化に合わせて、さらに学び続けていくことが求められていると感じました。学校を卒業した後も学び直し、自分の力をアップデートしていくことが必要であり、そのための意欲をもつことや努力をできる力を身に付けることが必要であるということです。

学びに対する意欲をもつことや努力をすることの大切さを感じ、身に付けることは、小学校での学びや生活が土台となります。学校の教育活動においては、そのことを念頭に日々行っておりまいます。また、子どもの意欲や努力する大切さは学校だけでなく、家庭、また、地域での活動等でも培われるものです。学校・家庭・地域で連携し、子どもたちをはぐくむことが大切であると考えます。

